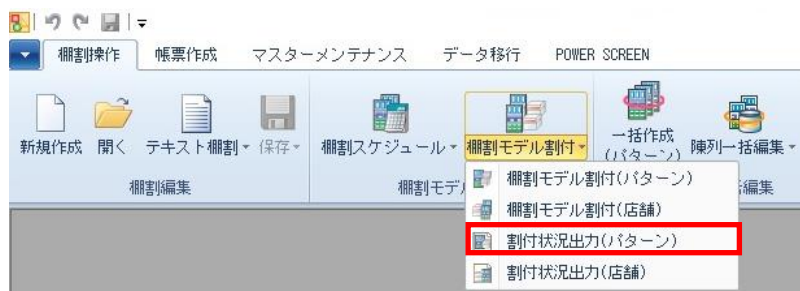


5-5 店舗で採用されている棚割の割付状況を確認する（パターンを基準に設定する）

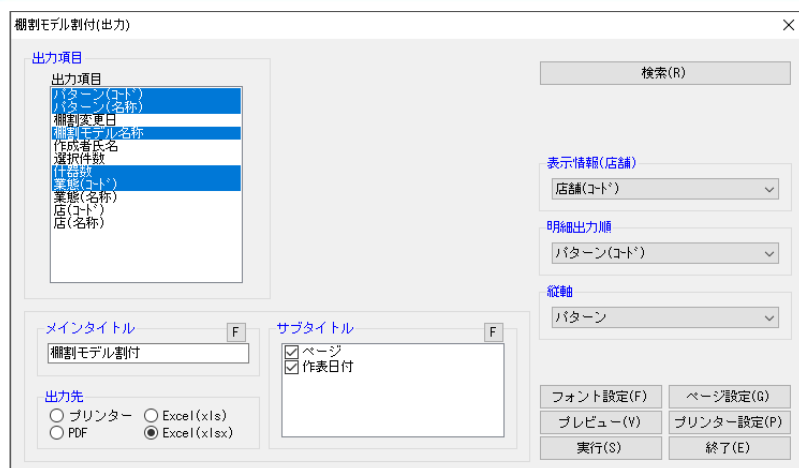
概要

割付状況出力を使用して、各店舗における棚割モデルの割付状況出力できます。
 カテゴリーを軸に、カテゴリーと店舗の割付状況や反転処理の情報を星取表の形式で出力できます。

起動方法



操作方法



1. [棚割操作] - [棚割モデル割付] - [陳列状況出力（パターン）] を選択します。
2. 検索画面より、「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。
 （複数のカテゴリーを選択できます ※「部門」指定時のみ、部門に属するカテゴリーが対象）
3. どの時点での割付状況を出力するか、「棚割変更日」を設定します。

「現状」	本日日付以前（本日日付を含む）過去直近の情報を対象にします
「入力日の直近過去」	入力日付以前（入力日付を含む）過去直近の情報を対象にします

4. 「棚割変更日」を「現状」「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を8桁（yyyymmdd）で入力します。
 （カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
5. 割り付ける店舗を絞り込む場合は、[直接検索] タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
 割り付ける店舗を該当パターンから絞り込む場合は、[パターン検索] から「パターン」を選択します。
 [閉じる] を選択して検索画面を閉じます。
6. 割付状況に出力する項目を設定します。
 「出力項目」より割付状況に出力する項目をクリックします。

7. 「表示情報（店舗）」で店舗名の表示方法を選択します。
店舗名のみ、店舗コードのみの表示や店舗名と店舗コード両方の表示が可能です。
8. 割付状況でパターンを表示する順番を「明細出力順」で選択します。
カテゴリーやパターン、棚割変更日を基準に設定できます。
9. 「縦軸」より、割付状況で縦軸に表示する項目をパターン、店舗から選択できます。
10. 出力先を確認の上「実行」をクリックして、任意の場所に保存します。

■ 特記事項

- [環境設定]－[棚割操作]－「オプション設定」で「複数パターンの棚割モデル割付を許可する」の設定により割付状況での表示方法が異なります。

「複数パターンの棚割モデル割付を許可する」が有効	割付店舗は「○」で表示されます。 反転がある店舗は「●」で表示されます。
「複数パターンの棚割モデル割付を許可する」が無効	割付店舗には割付時に設定した「順番」が表示されます。 反転がある店舗の項目は塗りつぶして表示されます。

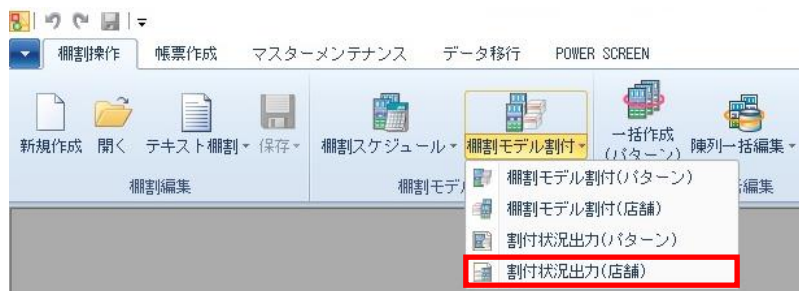
- [割付状況出力（パターン）] は [棚割モデル割付（パターン）] 機能内 [出力] と同等機能です。

5-5 店舗で採用されている棚割の割付状況を確認する（店舗を基準に設定する）

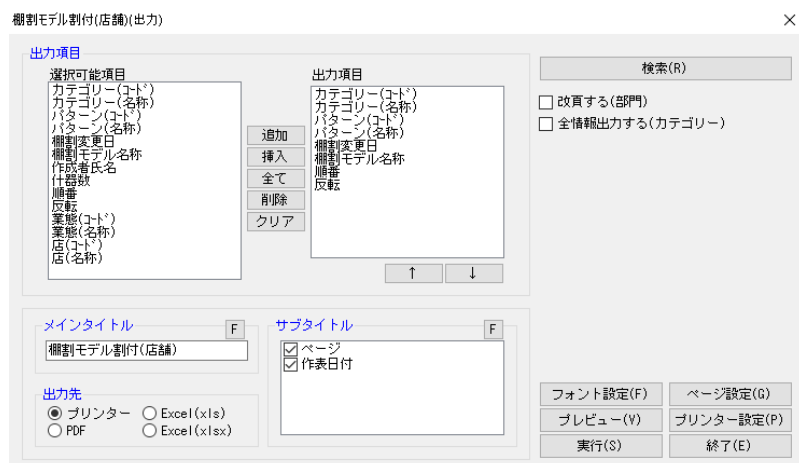
概要

割付状況出力を使用して、各店舗における棚割モデルの割付状況出力できます。
店舗を軸に、店舗と割付があるカテゴリーや棚割モデルの情報を一覧形式で出力できます。

起動方法



操作方法



1. 「棚割操作」－「棚割モデル割付」－「陳列状況出力（店舗）」を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。未選択の場合は全部門、全カテゴリーが対象になります。
（複数のカテゴリーを選択できます ※「部門」指定時のみ、部門に属するカテゴリーが対象）
3. 「棚割変更日」を「現状」「入力日」にし右側空欄に割付を変更する日を8桁（yyyymmdd）で入力します。
（カレンダーアイコンより日付を選択して設定することも可能です）
4. 「店舗」を選択します。表示させる店舗を絞り込む場合は「店舗グループ」を選択します。
5. 「実行」をクリックします。
6. 出力項目より割付状況に出力する項目をクリックします。
7. 部門ごとに改頁する場合は「改頁する（部門）」を選択します。
8. 出力先を確認の上「実行」をクリックして、任意の場所に保存します。

特記事項

- 「全情報出力する（カテゴリー）」を有効にすると、割付がないカテゴリーも含めた全てのカテゴリーと店舗との割付状況を確認できます。